

3. 村に吹き込む新たな風

ふるさと公園村千石沢集落・松平集落

昭和村の千石沢と佐倉の松平には、村ではあまり見かけない建物がいくつも建ちならび、一つの新しい集落となっています。これは、多くの村民が共同でお金を出し合い、開発のための企業をつくり、始められた新たな動きです。そのねらいは、都市に住む人たちに、ぜひ自然の豊かな昭和の田舎ぐらしをしてもらいたいということにあるようです。

現在では、建設中の住宅も含めると千石沢で16戸、松平9戸合計25戸の住宅が建てられ、全国各地から25世帯が村を四季折々訪れています。中には、昭和の住民として、定住している方も6人ほどいます。また、これら住宅を建てた人たちの多くは、将来、昭和村に定住を希望しています。

ここに住む人たちは、東京の商社や広告代理店で働いていた方、さらに、現役の高校・大学の先生やレコード会社のディレクター、学習塾や飲食店の経営者など、その顔ぶれはさまざまです。

こうした、いろいろな専門分野で活躍してこられた方々が昭和村を好きになり、昭和村に住みたいとあって村にやって来ているのです。



▲千石沢集落



▲松平集落